

血液浄化センター

1. 概要

当センターの診療の対象は、末期慢性腎不全の透析導入・様々な疾患で当院入院中の維持透析患者の透析・急性腎不全の透析、のみではない。血漿交換・免疫吸着等も病態に応じて行っている。最近では、腎不全以外のSLE・TTP・ギランバレー症候群・炎症性腸疾患・関節リウマチ等で、院内の多くの科から血液浄化の依頼が増えている。

当然、少人数の腎臓内科だけでは業務を遂行できず、移植外科の御支援を頂いている。また、MEや看護師（血液浄化センターのみならず、ICUを始めとする病棟や外来も）等のコメディカルの協力なくしては、当センターの運営が成り立たない事は言うまでもない。

最後に、重症透析患者は外来維持透析患者に比し膨大な医療資源を費やすことから、現状では受け入れに限界があることは認めざるを得ないが、基幹病院としてその責務を果たすべくスタッフ一同最善を尽くす所存である。

(センター長 山川 大志)